

■4月定例会 コクヨ株式会社新オフィス

◆日時：4月19日（木）14:00-16:00

◆場所：コクヨ株式会社新オフィス

参考 URL

・ <http://www.kokuyo.co.jp/info/detail/20170127.html>

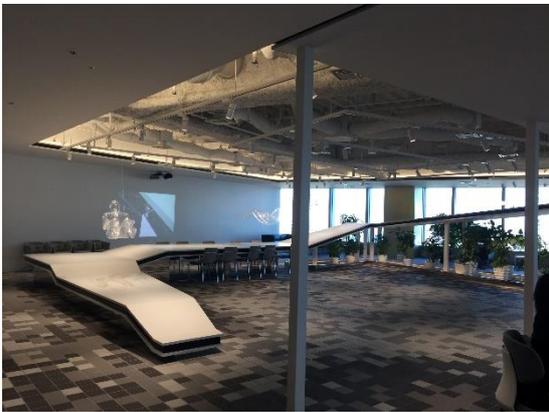
・ <http://shinagawa-st.jp/>

◆内容

1. オープニング 会長、コクヨ株式会社からの挨拶（10分）
2. 新オフィスのコンセプトと概要
コクヨ株式会社 講演者未定（15分）
3. 見学（30分）
4. 次世代オフィスの課題と展望
コクヨ株式会社 齋藤敦子（35分）
5. 総合討議（25分）
6. クロージング（5分）

◆当日の写真







◆お礼の言葉

コクヨ株式会社

齋藤敦子様

新居 臨様

写：知的オフィス環境推進協議会会員

（これまでこうしたメールは運営委員の皆様だけに写しを送っておりましたが、実施された行事の内容の報告にもなると思いますので、全会員に写しを送らせていただきます。ご参加されなかった、あるいはご参加できなかった皆様にも少しは情報をお届けできるのではと思っています）

昨日は、貴社を見学させていただき、また大変貴重な移転プロジェクトのお話、そして移転をきっかけに行った壮大な企業文化の変革についてお話をお聞きでき、誠に有り難うございました。

品川シーズンテラスに入館したのも初めてであり、品川駅徒歩数分の好立地に、素晴らしいビルが建ったのも知りませんでした。

思えば、貴社の品川オフィスに知的照明システムが日本初で導入させていただいたのが2009年、それから数年間、貴社と共に種々の改良や実証実験データを収集され、我々としても大変貴重な実証実験だったと思っています。有り難うございました。

さて、昨日見学させていただいたオフィス、参加者15名の皆様も、驚くことばかりでした。1500坪のワンフロアに800の方が執務されており、種々の空間が設けられ、先進的な試みが随所にあること、まさに貴社が、オフィスの未来形を自分たち全員で考えようというオフィスだと思いました。

このため、一番大切にすることが、働く人の自由度を最大限高めること、そして自立性を確立すること、という基本コンセプトであることを聞き、社長直属の「働き方改革タスクフォース」の独立性と先進性に驚きました。

できる限りルールは設けない、お作法は自立的に考えてもらう、という姿勢、そして、社内から多くの文句が出てても説得し、理解してもらう、慣れてもらう、というタスクフォースの踏ん張りに感心しました。そのタスクフォースが新居様と、入社2年目の4名?でやっていること、素晴らしいことです。過去の事情を知らず、しがらみの無い人のチームが、無理と思われる改革を進めること、なかなかできないことだと思います。

テレビ会議システムもオープン、その他の会議スペースもオープン、部長や役員の席も決まっていない、白熱電球ぼいランプが多い、みんなが集まるパークがあり、その中に一段下がったプールがある、セミナーは2台のプロジェクターでそこで行う、月に数回、楽しいイベントが行われ、ビールが飲めたりする、それらの参加は無料、椅子の数は執務者数より多い、椅子やテーブルの多様性がある、全員が支給のスマホと、ノートPCで仕事する、全員のオフィス内の位置は7.5mの精度と3分間隔で、誰でもウェブで確認できる、書類は個人用のロッカーに入るだけ、モバコとよばれる箱を持って移動する、などなど、実に興味深い見学会でした。

お陰で、ディスカッション時間が1時間程度にもなり、折角ご用意いただき、皆様も期待しておられた齋藤敦子様のご講演を聴く時間が無くなってしまったのが、最大の問題点でした。ただ、ディスカッションで多くのことが判明し、ご参加の皆様のご理解が深まり、かつ、貴社の新オフィスにかける情熱を理解することができました。齋藤敦子様のお話が聞けなかったのが大変残念ですが、その時間も無くなるほど熱い議論ができたこと、本当に良かったと思います。折角ご準備いただいた齋藤敦子様のご講演は近々、特別専門部会でゆっくりとお聞きしたく、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

それでは、昨日、貴社で開催させていただきました運営委員会と定例研究会に関して、格別のご配慮をいただきましたこと、深く感謝を申し上げます。有り難うございました。なにとぞ今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。また、1年後のオフィスを見学し、あのとき新居様がおっしゃっていたことがどのように進化したのか、知りたいところです。

有り難うございました。